

多目的ポリエチレンフェンスネット

セーフティネット

○ 特 徴

セーフティネットは、ポリエチレンの糸を編み込んだ特殊なネットです。風の影響を受けにくい構造で、柔らかく軽量で耐久性に優れています。また、ハサミなどでカットしてもホツレにくい構造となっております。

○ 取付方法

ネットの目合いに沿って互い違いにパイプなどを通して施工完了。ハトメ加工のように何ヶ所も固定する必要はありません。Φ50mmの径迄対応出来ます。
単管パイプにジャストフィットです。



○ 多目的な用途

工事現場の開口部、道路、鉄道、空港やスキー場などで視認性が必要な場合は**オレンジタイプ**を！
周りの風景に馴染ませたり、景観を重視する場合はナチュラルな**グリーンタイプ**を！！

○ 規 格

1m×50m（ロール巻）
色 オレンジ・グリーン
設計価格 @17,000円／巻

盛土の飛散防止、防塵・防風

ポリエチレンラッセル編み

防砂ネット



○ 特 徴

ポリエチレンラッセル編みの為、軽量で柔軟性に優れ、目ずれを起こさず、通気性、作業性に効果が有ります。

○ 用 途

工事現場、宅地造成現場等の防塵、防砂フェンス埋立地、盛土、残土に直接敷設し、飛散防止。
農場などの防風網としても利用出来ます。

○ 規 格

原反 2m×50m 3m×50m（ロール巻）
加工 周囲補強テープ、ロープ、ハトメ等加工出来ます。お問合せ下さい。
設計価格 @450円／㎡

販売店

ダイトー物産株式会社 本社

千葉県八千代市勝田台3-7-30

〒276-0023

TEL047-485-5772 FAX047-483-7443

倉庫・工場

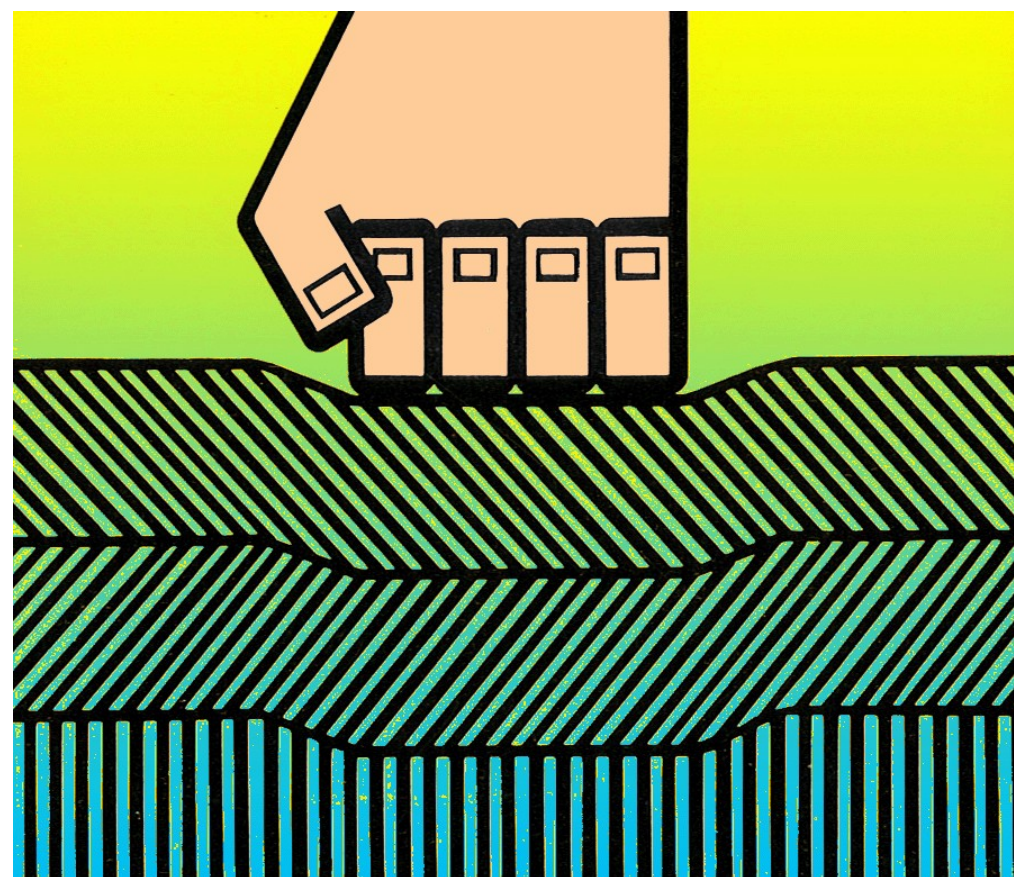
千葉県八千代市平戸287-2

<https://www.pp-daito.co.jp/>

e-mail:pp@pp-daito.co.jp

軟 弱 地 盤 用 土 木 資 材

ダイトー PPDシート



ダイトー物産株式会社
<https://www.pp-daito.co.jp>
e-mail:pp@pp-daito.co.jp

○ ダイトーPPDシート工法の効果と経済性

●トラフィカビリティの確保

ダイトーPPDシートに引張力が働き荷重を分散し軽減させますので、施工機械の搬入が容易になり、安全性も確保出来ます。

●土量の節減

軟弱地盤上へのまき出し土砂がシートの引張り力によって支えられ、無駄な土砂の投入を防ぎ、費用の節減ができます。サンドマット工法により軟弱地盤上に砂をまき出す場合サンドマットの下にシートを展帳し、砂のめり込みを防ぐと同時に工事の効果を増進します。粘着力C値が2～5kPa/cm²の埋立地の例では5m～10mの陥没を生じますが、ダイトーPPDシート工法では1.5m～2.0mに押さえる事が可能となります。

○ 施 工 方 法

●ダイトーPPDシートの敷設

シートを敷設する地盤にとがった鉄片、木片、鋭角な骨材などがあればシートを破る原因となりますから除去して下さい。シートは長手方向が盛土の進行方向(縫製方向と平行に沿うように)敷設します。シートは軟弱地盤内のみに敷設する事を避け、2～3mは安定地盤にもかかるように敷設してください。ダイトーPPDシートを敷設しますと、作業員の歩行すら不可能な軟弱地盤でも歩行が可能となります。超軟弱地盤でどうしても、ヒービングが発生しそうな場合はシートをタテ、ヨコ交差するよう二重にして敷設すると効果的です。

○ 用 途 本駐車場、仮設駐車場、本道路、仮設道路、宅地造成、グラウンド、
湿地水田地帯の改良、土木用フィルター材

○ 地盤の粘着力とシートの引張り強さ

地盤粘着力 C kPa／cm ²	3 程度以下	3 ～ 5	5 ～ 1 0	1 0 ～ 2 0	2 0 ～ 4 0	4 0 程度以上
盛土高さ (安定地盤を得る 盛土厚) m	2.30～2.00 + 砂層0.50m	2.00～1.80 + 砂層0.50m	1.80～1.50 + 砂層0.50m	1.50～1.20 + 砂層0.50m	1.20～0.60 + (砂層0.30m)	0.60以下 (砂層0.30m)
シートの引張強さ N／5 cm	2, 450以上	2,450前後	2,100前後	1,600前後	1,250前後	1,150以下

○ P P 土木シート 標準歩係 $\frac{3}{1000}$ 人工/m²

●埋没及び沈下の防止

ダイトーPPDシートで支えられた土砂は集中荷重が分散されますので、不等沈下と原地盤の流動(ヒービング)、局部的な破壊を抑制し、地盤の早期安定に効果があります。

●ヘドロ廃棄が不要

ダイトーPPDシートに引張力が働き荷重を分散し軽減させますので、施工機械の搬入が容易になり、安全性も確保出来ます。

●ダイトーPPDシートのジョイント

一般には0.5m程度のラップで、超軟弱地盤の場合で、1m～2m程度重ねて、重ね部分を、U字型又はO字型(#8～10番線)によって、1m程度のピッチで、原地盤に串刺しするかシート同士を結合して下さい。

- PPDシート固定用U型アンカーピン
Φ4mm×40mm×150mm
(メッキコーティング)
@50円/本 (1梱包/600本入)
※シート敷設時、省力化出来ます。

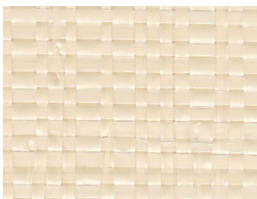
●施工のスピードアップと施工管理

ダイトーPPDシートが遮断幕になり盛土量の測定が容易にできます。また、埋没不等沈下を防ぎますので、工事期の短縮と地盤の改良効果を高めます。

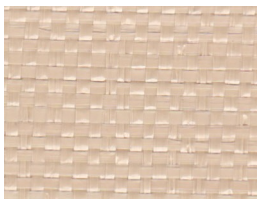
● 盛 土

まき出しはシートの長手方向(縫製方向と平行)に沿って盛土先端が均一になるように進めていきます。盛土先端に不均等な荷重が加わるとシートの下にヒービングが発生し、後の施工を妨げるおそれがあります。第一次盛土は2トン程度の小型ブル又は超湿地ブルで0.5m～1m厚程度盛土して下さい。ダイトーPPDシートは透水性抜群ですから、まき出し土砂とシートは一体になり、ヘドロ地盤は安定します。ダンプトラック等を走行させる為には、更に0.5m程度の第二次盛土を行います。この場合、大型ブルドーザーを使用すると能率が上がります。

○ ダイトーPPDシートの性能表、設計単価表 (ポリプロピレン系織布)



PP #1212BG



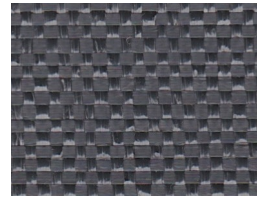
PP #1414BG



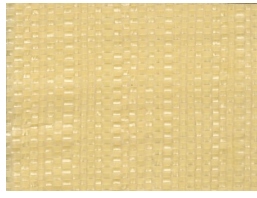
PPD #300



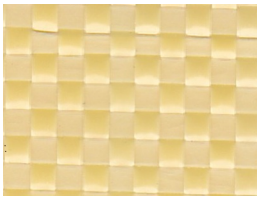
PPD #1616



PPD #700



PPD 強力 #1313



PPD 強力 #1513

PP#1212BG・PPD#300 は
小巻原反を用意して御座います。

規格

1 m×50m

1m×100m

2 m×50m

2m×100m

試験項目	引張強度 N/5cm巾 (kg/5cm巾)		伸度 (%)		引裂強度 N		透水計数 (cm/sec)	厚さ (mm)	質量 (g/m ²)	設計単価 (円/m ²)
	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ				
PP#1212BG	1000 (100)	1000 (100)	15.0	12.0	250	250	1.0×10 ⁻³	0.37	100	150
PP#1414BG	1100 (110)	1100 (110)	15.0	12.5	285	285	1.0×10 ⁻³	0.38	110	180
# 300	1200 (120)	1200 (120)	15.5	13.0	285	285	1.0×10 ⁻³	0.37	120	250
#1616	1300 (130)	1300 (130)	17.5	14.0	320	250	1.0×10 ⁻³	0.39	120	270
# 700	1500 (150)	1500 (150)	15.5	13.5	350	350	1.0×10 ⁻³	0.50	165	290
強力 # 1313	2000 (200)	2000 (200)	17.0	14.0	510	500	1.0×10 ⁻³	0.61	200	310
強力 # 1513	2700 (275)	2700 (275)	17.5	16.0	760	750	1.0×10 ⁻³	0.73	260	400
試験方法	JIS-L-1096 ストリップ法		JIS-L-1096 ストリップ法		JIS-L-1096 シングルタング法		JIS-A-1218	JIS-L-1096	JIS-L-1096	

注※上記数値は実測値の平均値であり、保証値ではありません。

注※予告無く色相を変更する場合や生産中止する場合がありますのでご了承下さい。